

嘉麻市社協だより

もうすぐ小学生
今年も元気いっぱい
遊ぶぞ！

えがお



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

No.
83

発行日 2013.1.1

遠賀川増水による水害 床上・床下浸水 300世帯を想定

～災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施～

者は、市民の方だけでなく、県内の社協職員もいて、全部で40名にもなりました。

1日目は、講師の李仁鉄さん（NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長）から、災害時のボランティア活動やコーディネーターの役割について講義がありました。新潟中越地震以降、様々な被災地で活動されている体験談を踏まえた話で、災害時のセンターの役割を詳しく学ぶとともに、普段のつながりを大切にすることや一人ひとりボランティアコーディネーターとしての役割は違うことを理解することができました。

また、グループ討議では、危険が伴うボランティア依頼の事例について検討し、被災者をどう支援していくかについて話し合いました。被災者の心理



活発に意見を交わしたグループ討議

限られた時間をいかに使い、準備を整えるか、どこの班も必死でした。

そして、緊張する中、センター運営の開始です。ボランティアがどつと押し寄せ、被災者からは電話と来所でボランティア派遣の依頼があります。また、マスクや市民の方からいろいろな相談が寄せられました。予期していない出来事に戸惑いの連続で、あつという間に時間が過ぎていきました。

訓練が終わり、グループに分かれて、良かったところや悪かったところを話し合い、最後は、

11月24、25日、福岡県主催の災害ボランティアコーディネーター養成講座が碓井千歳会館で開催されました。
この講座は、当初7月末を予定していたのですが、福岡県全域に被害をもたらした大雨水害のため延期になっていたのです。

災害ボランティアコーディネーターとは、ボランティアと被災者をつなぐ役割をもち、災害ボランティアセンターの運営には欠かせない存在です。
そのため、関心も高く、参加



シミュレーション訓練の説明をする李仁鉄さん

状況や隠れたニーズなど、どのグループからも被災者へ寄り添う支援について活発な意見が出ていました。

2日目は、「遠賀川増水による水害、床上・床下浸水300世帯」を想定して、本会の災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づいて、シミュレーション訓練が行われ、本会の職員14名がセンター運営の中心的役割を担いました。

まず、総務班、ボランティア受付班、ニーズ班、マッチング班の4つに分かれて、災害ボランティアセンター設置までの準備をしました。



登録や保険加入の手続きをするボランティア役のみなさん



マッチング班 打ち合わせ中

全体で振り返りを行いました。ボランティアの受付や待機時間が長かったり、被災者への対応に手間取ったりとうまくいかなかったことばかりで、どの班からも反省点が多く出されましたが、たくさんさんの気づきがあった2日間となりました。

もし、嘉麻市で災害が起き、災害ボランティアセンターを設置することになれば、本会がその運営を担うことになります。今回の訓練での気づきを生かし、災害時に困りごとを抱えている被災者にすばやい対応ができるようマニュアルの見直しなど事前準備を整えていきます。

広報紙をとおして「伝える」ためには



11月28日(水)、碓井千歳会館で、飯塚市・嘉麻市・桂川町社会福祉協議会合同の職員研修会を開催し、14名が参加しました。この事業は、三社協の職員研修会として毎年開催しているもので、今年も、各社協が発行している広報紙にスポットを当て、市民のみなさんに親しまれ、読みやすい広報紙づくりに必要なことを学ぶため、講師に西日本新聞社筑豊総局長の都留正伸さんを迎え、「新聞記者に学ぶ 伝えることへの思いやこだわりとは：…」と題して講演いただきました。

まずはじめに、記事づくりのスタートとなるネタを見つけるポイント、普段から常にアンテナを張っておくこと、文章を書く時には誰に伝えたいのかということ



最初に考えることなどについてのお話があり、本会が日頃から心がけていることの大切さを改めて再確認しました。

また、新聞は、本記、サイド記事、解説記事などに仕分けして書かれていることや、インタビュー記事は事前の準備が重要であること、写真は訴えかける力が強いいため、読者の視線を意識して撮影することなど、都留さん



飯塚市・嘉麻市・桂川町協の広報紙

からは新聞記者としての長年の経験をもとに、大変分かりやすい説明があり、広報紙づくりの多くの大切なポイントを学びました。

その後は、各社協の広報紙を題材に、改善すべきところや次号からの広報紙づくりに役立てられるたくさんのアドバイスをいただきました。

今回学んだことを今後につなげて、各社協が少しでもレベルアップした広報紙を作れるように努力しようという気持ちで新たな研修会となりました。

ひきこもり家族の勉強会開催

毎月開催しているひきこもり家族の集いでの勉強会として、北九州市で開催されているフリースペース「やわらかカフェ」を見学します。そこは、集まった人同士でお話をしたり、お茶を飲んだりして、ゆっくりとした時間を過ごす場で、ご本人だけでなく、家族や支援者なども参加できます。一緒に参加してみませんか。

- 日 時 平成25年1月31日(木)、2月28日(木) 13時30分～17時
- 場 所 北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」 北九州市戸畑区汐井町1番6号
- 参加対象者 ひきこもり家族をもつ方
- 参加費 300円(フリースペースへの参加費です)
- 問い合わせ 0948-42-0751(担当/木原・溝口)

「地域で安心して暮らしたい」を応援

先日、ある民生委員の方から、「他の市町村では、地域で見守り活動や福祉活動が行われているようだけど、うちは何もしていないの?」と聞かれました。全地区ではありませんが、実際に様々な福祉活動をしているところもあり、この広報紙や研修会等を通じてみなさんにお伝えしてきたつもりですが、なかなか伝えきれてないことを痛感しました。

そこで、今回は、本会が推進している小地域活動の拠点である「地域福祉部の設置」について、ご紹介したいと思います。

■ 助け合い、支えあう……共助の関係を地域に広げていく

地域の中には、高齢者や障がい者、子育て中の方など何らかの手助けを必要としている方が暮らしています。また、様々な困りごとを抱えていても、「助けて」と言える相手がいない方もいらっしゃいます。

その方たちの困りごとを解決できる福祉サービス等もありますが、それだけでは解決できない問題も山積みされています。そんな時に頼りになるのが、近隣の住民のみなさんです。

「個人の困りごと」を「地域の困りごと」として捉え、一人ひとりが「何気ない手助けや気配り」の気持ちを大切にしながら、組織的、継続的に行っていくのが、「小地域福祉活動」です。

■ 地域福祉部とは……

本会では、行政区を単位としてこの活動を推進する「地域福祉部の設置」を進めています。

地域福祉部は、各地域の実情に応じて、行政区長、民生委員児童委員、福祉推進員、福祉関係団体(老人会、子ども会、婦人会など)のメンバー、サロン代表者、防災関係者、関心のある住民など様々なメンバーで構成される自主組織です。

また、地域における福祉問題について協議する場であり、協議したことを実践していく中心的な役割も担います。

現在、稲築地区において21カ所設置されており、一人暮らしの方への見守り活動、手作り弁当の配布、男性料理教室、世代間交流、サロンの運営など、地域ならではの活動で顔が見える関係づくりが行われています。

■ 市民のみなさんと……

地域福祉を進めていく上で、一番大切なことは、顔が見える関係やつながりを作っていくことです。

行政区の中では、高齢者宅を定期的に訪問したり、お祭りや地域行事に車椅子の配慮をしたりと、すでに福祉活動を行っているところも多いのではないのでしょうか。

その活動をベースにして、一歩進んだ福祉活動を実践してみませんか。



地域福祉部活動の流れ

① 実態を把握

地域の実態や課題を把握します。

② 組織化

協議するメンバーを組織します。

③ 協議

どんな活動にするのか話し合う場を作ります。

④ 実践

地域でできる福祉活動を実践します。

⑤ ふりかえり

課題は解決できたのか、活動して見えてきたものは何か活動を振り返ります。

ご相談・お問い合わせ 嘉麻市社会福祉協議会
0948-42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2013年
1月

かまボランティア・市民活動センターのホームページをリニューアルしました

<http://kama.syakyo.com/kamavola.htm>

ホームページでは、センターがどんなことをしているのかを詳しく紹介しています。

現在募集中のボランティア情報やセンターに登録しているグループの紹介、ボランティアをする上で欠かせない保険のことなど情報が満載です。

ぜひ、ご覧ください。



イベント・ボランティア情報

ふくおか“きずな”フェスティバル

ボランティアの交流や子育て支援の輪を広げる「ふくおか“きずな”フェスティバル」が開催されます。

入場無料ですので、ぜひご参加ください。

日 時 平成25年2月17日(日) 9時40分～15時30分

会 場 クローバープラザ
春日市原町3-1-7 ※JR春日駅すぐそば

内 容 ①講演「幸せな地域社会の実現のために
～ボランティアのこれから～」
講師／山内直人氏(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)
②親子で楽しめるイベント
③ボランティアシンポジウム
④障害児者自立支援施設授産品フェア・食バザー
⑤高齢者疑似体験
⑥スタンプラリー 等

日 時 上記の①、③については、1月17日(木)までに申し込みが必要ですので、直接下記事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先 公益財団法人福岡県地域福祉財団振興課
☎092-582-2396

駅伝ボランティア

～第23回 楽しく走ろう
ふくおか 子ども駅伝 in 嘉麻～

県内の子どもたちがグループで楽しく走る、ふくおか子ども駅伝in嘉麻が開催されます。

この大会で、テント設営やコース整備を行うボランティアを募集しています。

日 時 平成25年2月17日(日)
8時30分～15時

集合場所 山田生涯学習館

内 容 テントの運搬・設営、
コース設備等

募集人数 10名程度

募集締切 1月15日(火)

《お問い合わせ・お申し込み先》 かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

碓井千歳会館のご案内

碓井千歳会館には、市民のみなさまがご利用できる会議室や相談室等が設置されています。各種会議や会合、サークル活動に、ぜひご利用ください。

- 【開館日時】 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
- 【休館日】 土曜日・日曜日・祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)
- 【利用方法】 事前申請が必要です。利用申請書は、ホームページからダウンロードできます。予約状況は、電話でご確認ください。



【大会議室】



【相談室】



【焼物室】



【染物室】



【小会議室】

	収容人数	使用料金		冷暖房使用料金
		3時間以内	3時間超過	
大会議室	50人程度	1,000円	1時間あたり500円が加算	左記料金の5割増し
小会議室 相談室	10人程度			
焼物室	15人～20人程度	1,500円		
染物室	10人程度			

碓井千歳会館

〒820-0504 嘉麻市下臼井1050番地19
 TEL 0948-62-3538 FAX 0948-62-3773
<http://kama.syakyo.com/siteikanri.htm>

災害がおきたら…

碓井千歳会館は、福祉避難所となります。もしもの時のために、知っておいていただければと思います。

社協だよりクイズ?

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

2ページにおいて、災害ボランティアコーディネーター養成講座の二日目は班に分かれましたが、班の数はいくつでしょうか。

- (1) 3つ
- (2) 4つ
- (3) 5つ

◆応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号、住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、1月31日(必着)までに、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

◆送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail tiki@kama.syakyo.com

◆前号のクイズの答え(3)

嘉穂総合高校嘉麻市立大隈城山校から、一夜城まつりで本会に贈与していただいたものはリンクプルでした。応募のあった方から、社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・色々な出来事(他の行政区のこと)、情報、取り組みなど楽しみに読ませてもらっています。

・サロンや高校生の取り組みは、皆それぞれが地域に参加して活躍していると思います。私も地域に参加できたらいいなと感じました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

変わらないもの

旧稲築町の漆生で生まれ育ち、漆生の商店街や駅、そして炭住などが子どもの頃の遊び場でした。子どもの頃は



福岡県春日市在住
山田 剛さん
漆生出身

の頃の遊び場でした。子どもは石炭産業が斜陽産業で、閉山が時間の問題となっていたなどとは知る由もなく、石炭を満載したトロッコや黒い煙を上げながら力強く走る蒸気機関車を飽きもせず眺めていたことを覚えています。

しかし、炭鉱は閉山。友達の何人かは転校し、漆生線も廃止となりました。さらに、卒業した小学校は統廃合によってなくなりまし

た。その後、私は大学進学とともに故郷を離れました。大学卒業後は福岡県内で就職したものの、仕事が忙しく、また両親が健在なことをよいことに、年に数えるほどしか実家に帰省することはありませんでした。帰省するたびに故郷が変わっていくのを驚きながら眺めていました。もう私の子どもの頃の記憶にある風景は残っていないかもしれせん。しかし、時代とともに故郷が変化していくのは当然のことです。

ただ、ある時、子どもの頃の遊び場であった漆生駅付近を歩いてみました。すると駅舎だったところは公園になり、線路だったところはきれいな道になり、「ここに駅があつて、蒸気機関車が走っていた」というのが信じられず、この時だけは少し残念な気持ちになりました。でも、変わらないものもありました。それは人との繋がりで

す。私は今年6月に春日市で司法書士事務所を開設しました。これedyと、大学卒業30年目にして、初めてカレンダー通りに休めるようになりました。これまでは仕事の関係で同窓会には全く出席できま

せんでしたが、初めて6月に高校の同窓会に出席しました。30年ぶりに会った同級生、先輩、後輩。最初は少し居心地が悪かつたのですが、誰もが当時のまま、温かく迎えてくれました。おかげで、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

故郷の風景は変わっても、人との繋がりは変わらない。これから、もつと故郷を訪れて、人との繋がりを大切にしたいと思います。

2月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

- と き: 2月7日(木) 13:00~16:00
- と ころ: 山田ふれあいハウス
- と き: 2月21日(木) 13:00~16:00
- と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

- と き: 2月13日(水) 13:00~15:00
- と ころ: 稲築住民センター
- と き: 2月27日(水) 13:00~15:00
- と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751



お正月に放映される箱根駅伝を毎年欠かさず応援される方も多いと思いますが、炭鉱が活況を呈したかつての筑豊でも、この季節になると駅伝大会が行われていました。

左の写真は、昭和38年頃、山野鋳業株式会社が開催した駅伝大会で、選手が鋳業所内の第一壱坑前からスタートを切るところです。年明けの恒例行事として、6~7回開催されたそうです。山野鋳業株式会社にあった漆生、鴨生、銭代坊、平、緑ヶ丘の5つの社宅別対抗の大会で、それぞれから5~6人ずつ選ばれ、一区間3km程の距離を走りました。

当時、炭鉱の労務課に勤務されていた方に話を伺うと、全国的にも有名であった内川義高選手や古賀新三選手などが三井山野炭鉱に席をおいたこともあって、駅伝が盛んだったそうです。他の会社の職域別対抗の大会や、青年団が主催する嘉飯山地区の大会など、盛大に行われていました。

陸上競技の他に、野球チームも活躍していたこの時代は、炭鉱の勤務に汗を流しながら、栄えていたスポーツを楽しむ人が多かったそうです。



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し
11月1日～11月30日受付分



【鴨生北町】

●香典返し

【漆生本村】

親族 野見山 千代子 様

故 野見山 正戸 様

【口春】

親族 板倉 登志子 様

故 板倉 惇夫 様

【山野第二】

親族 山本 千鶴 様

故 山本 昭夫 様

【辻中籠】

親族 島田 照子 様

故 島田 三郎 様

【漆生老松】

親族 青木 逸子 様

故 青木 ヨシエ 様

【銭代坊】

親族 福岡 キミ子 様

故 福岡 正文 様

【鴨生北町】

親族 山崎 恵子 様

故 田口 ヒサエ 様

【尾浦第二】

親族 林田 美由紀 様

故 谷口 安正 様

【西川】

親族 中村 操 様

故 中村 隆 様

【さくらが丘】

親族 東筋 秀和 様

故 明石 サツキ 様

親族 中場 寿美恵 様

故 中場 進一 様

【中山田上】

親族 古賀 静江 様

故 古賀 英一郎 様

【日吉】

親族 栗野 スズ子 様

故 栗野 茂晶 様

【中益】

親族 実藤 芳文 様

故 実藤 サワエ 様

【下牛隈】

親族 圓入 弘美 様

故 圓入 マサ子 様

親族 手嶋 寅雄 様

故 手嶋 須磨子 様

【椎木】

親族 福田 テル子 様

故 福田 正雄 様

【上】

親族 宮地 シツコ 様

故 宮地 義尋 様

【一般寄附】

株式会社玉置 様

山田木目込み教室 様

嘉穂の名水愛好者一同 様

【物品寄付】

熊ヶ畑第二 辻 儀一 様

【子育てリユース】

口春 安部 栄子 様

鴨生北町 服部 陽子 様

平山 實藤 仁美 様

熊本 中島 瞳 様

木城 笹尾 春稀 様

石ヶ崎 渡邊 綾 様

田川市 ちーむ笑筑ばい 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿名 様

漆生南部 市原登志彦 様

漆生南部 西岡 聖 様

熊本 中島 政美 様

下臼井東 匿名 様

百々谷 橋本 利根 様

中央 明石 睦則 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

東馬見 古谷 富子 様

市内 匿名 様

【リングプル】

山野第一 匿名 様

鴨生第二 鬼塚多美子 様

枝坂 雲井トメ子 様

下臼井東 匿名 様

熊ヶ畑第二 廣瀬 正明 様

尾浦第一 大津 弘子 様

下宮 仲道 庸正 様

木城 笹尾 春稀 様

木城 樋口えり子 様

石ヶ崎 國武美千代 様

石ヶ崎 渡邊 翔琉 様

石ヶ崎 桃崎 晃大 様

石ヶ崎 桃崎 奏大 様

古河 甲斐 良子 様

中益 福澤 和美 様

中益 匿名 様

下益 匿名 様

上西郷 匿名 様

桑野 大里ヒデ子 様

田中茶舗 匿名 様

三光園 匿名 様

長円寺仏教婦人会 匿名 様

グランドベルズ飯塚 匿名 様

【古切手】

筑紫 豊田 敏雄 様

碓井朗読の会 匿名 様

おかむら葬祭 匿名 様

嘉麻市役所高齢者介護課 匿名 様

(有)大山産業 匿名 様

平和舗道株式会社 匿名 様

教育ナビゲーション(株) 匿名 様

グランドベルズ飯塚 匿名 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入
いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

11月1日～11月30日受付分

〈漆生中央〉田中茶舗(二口)

〈平東〉関直樹

〈尾浦第一〉吉丸慎也、吉丸モモエ

〈尾浦第二〉吉丸公隆

〈下宮〉山藤やす子、重松鈴子、重

松嘉隆、古賀聖一、森勇雄、大上

啓子、本岡サナエ、大塚秀樹、加

来京子、都築光一、矢野栄一、井

上正一、大里一男、松岡ミツ、岩

下一女、有吉国土、佐野敦、松岡

伸彦、今村きよ子、小野京子、仲

道正行、石松初美、椿甫、林田一

輝、平野千恵子、坂井政数、井上

学、内橋正、坂本智恵子、森茂、仲

道庸正、篠原孝一、廣谷マリ子

〈木城〉松尾明江、大津雅郁、中田

盛樹、有山和子

〈昭和〉下田真作(三口)

〈石ヶ崎〉花元加奈子

〈下牛隈〉大塚秀親、大塚香代子

〈宮吉〉徳丸智加

嘉麻市社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生298-1
☎(0948)42-4241

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



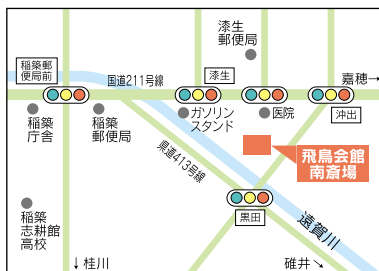
心に残る温かいおもてなしを執り行わせて頂きます。事前相談も承っておりますので、葬儀に関するご不明な点など、お気軽にお問い合わせください。

また、当会館のお斎は、パドゥール・コトブキの本格京風懐石をご用意しております。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館南斎場を含め、市内に8カ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499
ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444
セレモニーホールおおつか	☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
善光会館 稲築会場	☎83-5000
おかむら葬祭 岡村会館	☎42-4420

- 24時間、365日対応いたします。
- もしもの時の事前相談も承ります。



新居さん 坂本さん
福澤さん 萬田さん

福祉のまちづくりのために

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご加入ください。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

編集後記

災害ボランティアコーディネーター養成研修では、ボランティア受け入れ班のリーダーとして務めました。初めての体験であたふたしながらも、勉強しよう！という気持ちで取り組みました。災害など緊急の時こそ日頃の行いが問われるということ、身を持って感じた研修会となりました。今年「日頃」を大切にできるようにしたいと思います。



(みぞくち)

広報の担当をするようになり、「伝える」ことの難しさに日々頭を抱えていましたが、先日の研修会で伝えることの大切さを改めて学ぶことができました。みなさんから、「広報紙、読んだよ」と声をかけてもらえるような親しみやすい紙面づくりを心がけていきたいと思っております。今年もよろしくお願ひします。



(きはら)